

安全データシート

整理番号 【387-10】

制定日 2009/02/17

改訂日 2018/09/14

1. 製品および会社情報

製品

製品名 医療施設用 環境除菌洗浄剤 プロベスト (18)

供給者情報

会社 サラヤ株式会社

住所 大阪府大阪市東住吉区湯里 2-2-8

担当部門 営業本部

電話番号 06-6797-2525

緊急時連絡番号 06-6705-1013

2. 危険有害性の要約

GHS分類:

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性 : 区分1

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 区分1

皮膚感作性 : 区分1

生殖毒性 : 区分1

特定標的臓器毒性 (単回暴露) : 区分1

特定標的臓器毒性 (反復暴露) : 区分1

環境に対する有害性

水生環境有害性 (急性) : 区分1

水生環境有害性 (慢性) : 区分2

GHSのラベル要素

絵表示又はシンボル: 腐食性、健康有害性、感嘆符、環境

注意喚起語: 危険

危険有害性情報: 重篤な皮膚の薬傷、重篤な眼の損傷

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

生殖能または胎児への悪影響のおそれ、臓器の障害

長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害

水生生物に非常に強い毒性、長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き:

【安全対策】

使用前に取り扱い説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
取り扱い後、手、喉をよく洗うこと。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
この製品を使用する際に、飲食または喫煙をしないこと。
環境への放出を避けること。

【応急措置】

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚または髪に付着した場合：
直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を多量の水で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診察、手当を受けること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、
呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
特別な措置が必要である。（4. 応急措置を参照のこと）
直ちに医師に連絡すること。
気分が悪い時は、医師の診察、手当を受けること。
暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診察、手当を受けること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。
漏出物を回収すること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を自治体のルールに従い廃棄すること。

3. 組成および成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

成分：（括弧内はラベル表示内容）

陽イオン界面活性剤（第四級アンモニウム塩）、両性界面活性剤（両性界面活性剤）、
金属イオン封鎖剤（金属イオン封鎖剤）、色素

化学名または一般名：

ジデシルジメチルアンモニウムメチル硫酸塩(CAS NO, 非公開) 5～20%含有
ジメチルラウリルアミンオキサイド(CAS NO, 1643-20-5) 5～20%含有

エタノール(CAS NO, 64-17-5) 1. 6%未満含有

イソプロピルアルコール(CAS NO, 67-63-0) 1%未満含有

4. 応急処置

皮膚についた場合：

水で洗い流す。その後、刺激を感じたときは医師に相談する。

眼に入った場合：

水で洗い流す。その後、刺激を感じたときは医師に相談する。

飲み込んだ場合：

直ちに多量の水を飲ませる。無理に吐かせないで速やかに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤：

泡、粉末、炭酸ガスなど。

消火方法：

通常は燃焼しないが、万一、周辺状況により燃焼した場合は上記の消火剤による。

6. 漏出時の措置

少量の場合は、布切れ等で拭き取り、大量の場合は、蓋付空容器へ回収する。

7. 取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い：

①作業時は炊事用ゴム手袋を着用し、目に入らないように注意する。

②他の殺菌剤・洗浄剤等とは混ぜない。効力が低下したり、沈殿が生じたりすることがある。また、入浴剤などが残留していると、本品と反応して着色物を生じることがある。洗浄前に十分水洗いする。

③他の容器に移し替える場合は、専用のプラスチック容器にその商品名、使用方法、注意事項を明記した上で使用する。

④用途以外には使用しない。

保管

適切な保管条件：

幼児の手の届かないところに保管する。

8. 暴露防止措置および保護措置

設備対策：情報なし
管理濃度：設定されていない。
許容濃度：設定されていない。
保護具：炊事用ゴム手袋を着用する。

9. 物理的および化学的性質

外観：赤褐色透明液体
臭い：原料臭
pH：8.5～10.5
比重：0.995（20℃）

10. 安定性および反応性

安定性：常温においては安定である。
危険有害性反応可能性：情報なし

11. 有害情報

急性毒性：区分外
皮膚腐食性/刺激性：区分1（重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷）
眼に対する重篤な損傷/刺激性：区分1（重篤な眼の損傷）
呼吸器感作性/皮膚感作性：区分1（アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ）
変異原性：区分外
発がん性：区分外
生殖毒性：区分1（生殖能または胎児への悪影響のおそれ）
特定標的臓器/全身毒性－単回暴露：区分1（臓器の障害）
特定標的臓器/全身毒性－反復暴露：
区分1（長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害）
吸引性呼吸器有害性：分類できない
催奇形性：分類できない
代謝：分類できない

労働安全衛生法 通知対象物質 エタノール 1.0% 含有
通知対象物質 プロピルアルコール 0.1%含有

12. 環境影響情報

生態毒性：情報なし
残留性・分解性：情報なし
生体蓄積性：情報なし
土壌中の移動性：情報なし

N,N-ジメチル^レテシ^ルアミン=N-オキソ^レ（化学物質管理促進法（P R T R法）
第一種指定化学物質 No. 2 2 4） 1 0 %含有

ノニルフェノール系非イオン界面活性剤を含め、環境庁が内分泌攪乱物質
（いわゆる環境ホルモン）と位置付けした 指定物質は一切配合していない。

13. 廃棄上の注意

「7. 取り扱いおよび保管上の注意」の項を参照のこと

残余廃棄物：

大量の水で希釈し処理するか、焼却炉の火室に噴霧し焼却する。
あるいは、廃棄物業者に処理を依頼する。

使用済容器：

管轄自治体のルールに従い、処理する。

14. 輸送上の注意

「7. 取り扱い及び保管上の注意」の項を参照のこと

国際規制

国連分類：腐食性物質（クラス8、容器等級Ⅲ）

国連番号：1 7 6 0

引火性液体に該当しない。

運搬する場合には、飛散、漏洩、流出、又は浸出を防ぐのに必要な措置を講じなければ
ならない。

15. 適応法令

労働安全衛生法（安衛法）：通知対象物質 エタノール 1.0% 含有
通知対象物質 プロピルアルコール 0.1% 含有
化学物質管理促進法（P R T R法）：該当する。

16. その他の情報

参考文献

GHS混合物判定ツール（経済産業省）

- ・この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
 - ・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。
 - ・注意事項は通常取り扱いを対象としたものですが、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。
 - ・すべての化学品には未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。
-